

東アジアにおける女性の産後育児 支援の多様性及び母子の well-beingへの影響

本シンポジウムでは、日本・中国・韓国3カ国で育児期の母親を対象として実施したインタビュー調査から得られたデータに対してTEA(複線径路等至性アプローチ)などの質的分析を行った結果について、3名の話者提供者が報告する。

Session 2

- 14:00 - 14:05  開会のあいさつ・趣旨説明 (矢藤優子)
- 14:05 - 14:35 茨木市における育児期女性へのインタビュー調査の成果—質的研究による国際比較に向けて
三品 拓人
- 14:35 - 15:05 中国における産後女性の社会支持及び心理プロセスに関する質的研究
Tingting Chen
- 15:05 - 15:35 韓国社会における産後の働く女性とその家族の育児体験と幸福感に関する研究
Professor Joonha Park
- 15:35 - 16:00  ディスカッション (Discussant: DUAN Jiaobo)
およびフロアとの討論
- 16:00 閉会

2023年2月25日(土)

14:00-16:00 (日本・韓国) 13:00-15:00 (中国)

会場: Zoom にてオンライン開催
言語: 英語 (日本語の同時通訳付き)

要事前登録

以下のフォームよりご登録ください

<https://tinyurl.com/2o536u3v>



司会者



矢藤 優子

立命館大学・総合心理学部 教授



発表者



三品 拓人

日本学術振興会特別研究員(PD)



Tingting Chen

立命館大学・人間科学研究科
博士後期課程



Professor Joonha Park

名古屋商科大学・経営大学院 教授



ディスカッション



段 嬌博

OIC総合研究機構 客員協力研究員
中国深セン税関 メンタルヘルスセンター長